

堀米正廣氏をねぎらう会

謹啓

初冬の候、各位におかれましては、益々ご清祥にて、邦家のためにご精励の段、大慶至極に存じ上げます

扱、平成十八年八月十五日の「終戦記念日」を期して、大日本同胞社の堀米正廣氏は媚中政治家・加藤絢一宅を焼き討ちし、自らも自決せんとする義挙を敢行致しました

堀米正廣氏の行動が如何に正しかったかは、その後の歴史が証明致しております今日、共産支那は、日本の經濟技術援助によつて國力を増強させたにもかかわらず、我が國に対する非道なる圧迫・侵略行為をますます活発化しております

かかる状況が出現した原因の一つは、加藤絢一など、わが国内において、共産支那の手先の役割を果たしている存在があります

加藤絢一は宮澤内閣官房長官の時、「天皇御訪中」「經濟制裁の解除」を推進し、「天安門事件」によつて國際的非難を浴びていた共産支那の國際舞台への復活の道をつけた政治家です、長きにわたつて共産支那を利する売国的行为を行つてきた媚中政治家・加藤絢一の罪は極めて重大であります

加藤絢一に対する堀米正廣氏による糾弾行動は、愛國維新運動において輝ける歴史を刻むものであつたと確信します

その堀米正廣氏が八年間に及ぶ収容生活を終え、十二月二十二日に、社会復帰することと相成りました

つきましては、左記の通り堀米正廣氏の憂國の義挙を顕彰し、且つ、長期にわたる収容生活の御苦労をねぎらい、國家安泰を祈願致したく存じます
同志各位におかれましては、微意をお汲み取り下さいまして、是非とも参列の榮を賜りたく、謹んでお願ひ申し上げます

本来なら、参上拜眉の上、お願ひ申し上げるべきところ、書状を以てご案内申し上げますことを、どうかご容赦くださいませ

謹白

平成二十六年十一月 吉日

記

日時

平成二十六年十二月二十三日
午後十二時三十分 受付

午後一時

昇殿参拝、

場所

靖國神社

代表発起人

阿形 充規
大島 龍珉
四宮 正貴
福田 雅光
渡邊 謙二

犬塚 博英
緒方 孝名
白倉 康夫
古庄 昇

大石 恭輔
三本管 啓二
土井 幸政
吉岡 亜樹

発起人

秋山 一成
河原 博史
田中 清元
平山 芳仁
細田 政一

石原 幹望
斎藤 杠彦
平河内 進
福田 邦宏
三澤 浩一

井之上 净誓
曾我 昇陽
平澤 晓男
舟川 孝
水谷 浩樹

(五〇音順・敬称略)

連絡先

事務局責任者

大日本同胞社

棚田 靖

直 隆志

東京都新宿区歌舞伎町二丁目十九番地十七号
石川ビル四〇三号室

電話 ○三(五二九二)一七一二
FAX ○三(五二九二)一七一三